

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション  
 コード番号 3370 URL <http://www.fujitacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 博章

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-34-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,114	△0.9	73	36.5	26	—	△30	—
23年3月期第3四半期	6,172	△0.5	53	△42.6	△16	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3,409.37	—
23年3月期第3四半期	△718.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,583	431	6.6
23年3月期	6,654	475	7.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 431百万円 23年3月期 475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,362	0.6	156	57.9	88	874.9	39	255.5	4,446.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,916 株	23年3月期	8,916 株
24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	8,916 株	23年3月期3Q	8,916 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響が残るものの、緩やかな持ち直しの動きが見られますが、雇用情勢や所得環境は厳しい状況が続きました。また、海外経済の減速や円高に伴う輸出減の影響もあり、経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社は販売管理費等削減の一環として、新規出店店舗及び既存大型店舗を中心にLED照明への切替を進め、コストを削減しつつ環境及び節電に努めてまいりました。

店舗展開におきましては、1店舗の閉店、1店舗の改装、1店舗の業態変更、3店舗の新規出店、1店舗を営業譲受により出店いたしました。これにより、当第3四半期累計期間末における当社の稼動店舗数は23業態107店舗となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,114百万円（前年同四半期比0.9%減）となり、売上原価及び販売管理費等の適正管理に努めた結果、営業利益73百万円（前年同四半期比36.5%増）、経常利益26百万円（前年同四半期、経常損失16百万円）となりました。また、特別損失に店舗閉鎖損失42百万円を計上した結果、四半期純損失30百万円（前年同四半期、四半期純損失6百万円）となりました。

なお、当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末の6,654百万円に比べ71百万円減少し、6,583百万円となり、純資産は前事業年度末と比較して44百万円減少し、431百万円となりました。これは主に、利益剰余金が34百万円減少したためであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食部門

当第3四半期累計期間における飲食部門におきましては、フランチャイジー事業は本部主導の販売促進活動及び新商品の販売を、オリジナルブランド事業は、原材料の安心・安全を考慮した商品の開発及び販売を行ってまいりました。

飲食部門の店舗展開におきましては、フランチャイジー事業店舗2店舗の新規出店、1店舗を業態変更した結果、当第3四半期累計期間末の飲食部門の店舗数は76店舗となりました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,665百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益64百万円（前年同四半期比1,923.0%増）となりました。

#### ② 物販部門

当第3四半期累計期間における物販部門におきましては、フランチャイジー事業は本部主導の販売促進活動や商品の訴求等を、オリジナルブランド事業は営業店舗のみならず、インターネット販売にも力を注いでまいりました。

物販部門の店舗展開におきましては、オリジナルブランド事業店舗1店舗の新規出店、1店舗の営業譲受による出店、1店舗を閉店した結果、当第3四半期累計期間末の物販部門の店舗数は31店舗となりました。しかしながら、フランチャイジー事業でありますT S U T A Y Aの同業他社との競争激化に伴う売上減に歯止めがかからず、当第3四半期累計期間の売上高は2,448百万円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント利益9百万円（前年同四半期比81.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,290百万円となり、前事業年度末に比べ119百万円増加いたしました。これは主に 売掛金が102百万円、商品が37百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,291百万円となり、前事業年度末に比べ190百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が94百万円、投資その他の資産が88百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,583百万円となり、前事業年度末に比べ71百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,718百万円となり、前事業年度末に比べ69百万円減少いたしました。これは主に短期借入金72百万円及び1年内返済予定長期借入金52百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,433百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に社債が80百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,151百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は431百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が34百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は6.6%（前事業年度末は7.1%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期業績予想につきましては、平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064,839	1,031,580
売掛金	227,642	330,027
商品及び製品	610,817	648,247
原材料及び貯蔵品	37,925	63,105
その他	230,399	217,987
流動資産合計	2,171,623	2,290,948
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,844,454	1,768,497
工具、器具及び備品（純額）	477,849	456,321
土地	573,649	573,649
その他（純額）	63,697	66,260
有形固定資産合計	2,959,651	2,864,728
無形固定資産	162,831	154,770
投資その他の資産		
投資有価証券	250,933	237,511
長期前払費用	112,874	79,580
敷金及び保証金	915,652	894,099
その他	105,186	85,452
貸倒引当金	△25,000	△25,000
投資その他の資産合計	1,359,647	1,271,643
固定資産合計	4,482,130	4,291,142
繰延資産	334	959
資産合計	6,654,087	6,583,050
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	330,899	326,146
短期借入金	442,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	1,596,101	1,543,420
1年内償還予定の社債	70,000	40,000
未払法人税等	16,149	10,184
その他	332,705	428,753
流動負債合計	2,787,856	2,718,505
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	3,181,927	3,134,563
退職給付引当金	28,654	—
資産除去債務	999	1,020
その他	179,399	217,714
固定負債合計	3,390,980	3,433,297
負債合計	6,178,836	6,151,803

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	388,153	388,153
資本剰余金	47,702	47,702
利益剰余金	29,403	△5,452
株主資本合計	465,258	430,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,992	844
評価・換算差額等合計	9,992	844
純資産合計	475,251	431,247
負債純資産合計	6,654,087	6,583,050

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,172,086	6,114,683
売上原価	2,621,715	2,549,757
売上総利益	3,550,370	3,564,926
販売費及び一般管理費	3,496,615	3,491,546
営業利益	53,754	73,379
営業外収益		
受取利息	3,206	1,700
受取配当金	6,125	4,568
不動産賃貸料	75,092	80,692
受取保険金	5,400	12,499
その他	4,398	17,596
営業外収益合計	94,223	117,057
営業外費用		
支払利息	101,298	101,889
不動産賃貸原価	51,606	53,796
その他	12,042	8,062
営業外費用合計	164,947	163,748
経常利益又は経常損失(△)	△16,969	26,688
特別利益		
固定資産受贈益	22,777	—
貸倒引当金戻入額	30	—
特別利益合計	22,807	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	2,650	42,781
固定資産売却損	—	2,476
固定資産除却損	—	9
災害による損失	—	4,023
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,381	—
特別損失合計	4,031	49,290
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,806	△22,602
法人税、住民税及び事業税	8,210	7,795
法人税等合計	8,210	7,795
四半期純損失(△)	△6,404	△30,397

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象  
該当事項はありません。